

◆『令和5年度の指導方針について』

副校長・教育部長 有賀 浩

建学の精神、校訓を根本とし、「明るく笑顔で元気のよい挨拶を基調とした全人教育」、そして「勉強と仕事を通して自己実現を図る」こと。グローバル社会に貢献するため、「プロフェッショナルとしての自信と誇りを持ち、確固たるアイデンティティを確立する」こと。これら本学における職業実践専門教育の土台となる教育理念（職業教育70周年、学校法人中村学園50周年、専門学校35周年を越えて、なお不変であること）を確と心に据え、学校・学科・研究・専攻・コースにおいて、社会人基礎力をベースに、学生一人ひとりが目標とする職業に必要なスキル・資格を積極的に修得。更に産学連携教育プログラム、フィールドスタディーの経験を通じて「人材（人財）」となる。これこそが、職業実践の専門教育を行う高等教育機関としての本学の役割だ。生涯学習機関として卒業生や社会人（在職者、離職者）を対象とするリスクリング、小・中・高生ための職業・キャリア意識向上も支援する。

学科ごとに定められた修業年限の中で「人財」となるために、まず一日も早く職業のイメージ付けを行い、就職という目標を明確化しよう。本学が最も力注ぐ『産学連携教育プログラム』＜産業界・福祉・医療・幼児教育・官公庁等、各分野との密接な連携による実践的・体験的な職業教育＞により、企業人・現場スタッフ、卒業生から直接指導を受け、関わり合い、評価を頂くことで、キャリアイメージを明確化して、各自の就職目標達成に向けた学びに対するモチベーションを高める。これらの経験から見つけられた課題を持ち帰り、アクティブラーニングを活用した学内での学びで解決、ステップアップを目指す（PDCA サイクル）。

「創意進取の研鑽」、試行錯誤を重ね、「クリエイティブな精神」を大いに培う。そして将来プロフェッショナルとなった後も、それぞれの就職先で「現代社会の変化に対応」して自ら動き、課題を見つけ、解決し、高い付加価値を創造する力を伸ばすこと。校訓「技術は力なり 我は我が道を行く How to 人間ではなく Why 人間の養成」を具現化するために必要なこれらの「力」のベースを、修学期間中に一つでも多く身に付けよう。

「CAN スカラシップ制度」に基づく学生リーダーたちが中心となり、学生相互の切磋琢磨により全ての学生が社会性・専門性を高めていく。フィールドスタディーにおいては、「ICT（情報通信技術）・エンターテイメント」×「福祉・医療・子ども・教育」のコラボレイトに加え、永年継続して地域から高く評価されている地域活動・ボランティア活動も一層充実させる。視野を広めることで、複数の分野に亘る複合的な知識・見識を

持つ「希少人材」を目指す。

両専門学校共に文部科学大臣から認定されている「職業実践専門課程」としての責務も果たす。各界のプロフェッショナルや専門分野で豊富な経験を積んだ卒業生を中心に構成する学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会により、我々教職員も多くのチャンネルを駆使して研鑽を重ね、各界のニーズを的確に受け取り、カリキュラムの構築と教育、研究を実践していく。

また、専門学校には「中核的人材の育成」についても大きな期待が寄せられている。昨年度様々な形で学生が関わらせて頂いた文部科学省委託事業（全国の専門学校・企業・業界団体・学識経験者とのコラボレーションによる教育システム・カリキュラム構築、先端技術を活用した教育手法の研究、並びにコンテストの開催等）に今年度もチャレンジする。

コロナ禍により制約を受けたからこそ蓄積することができた教育のノウハウやオンライン教材・ライブラリも活用しながら教職員・学生が一丸となって、学事を進めていく。世界全体の指針であるSDGsを主眼とし、Society 5.0の実現に向けてAI（人工知能）、XR（VR 仮想現実、AR 拡張現実、MR 複合現実の総称）が急速に普及する今、「時代を先読みし、キャリアイメージを常に持ちながら付加価値を高めていけるプロフェッショナル」になるための着実な教育を実践し、その成果として優秀な人材を世の中に輩出する一年としたい。

*「職業実践専門課程」

専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを、「職業実践専門課程」として文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするもの。平成26年度より新設された。本学園が設置する両専門学校とも認定を受けている。



専門学校静岡電子情報カレッジ

 ☆IT ゲーム&ロボットシステム学科
 （ゲームシステム研究、ロボットシステム研究、
 IT スペシャリスト研究）

学科長 中村 健太郎

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。ならびに保護者のみなさま、誠にありがとうございます。

本学科の分野に関しては、近年、多くの業種においてリモートワークも日常的になり、より一層ITの活用が加速しています。加えて、産業界全体がデジタル・トランスフォーメーション（DX）にシフト。また、AIやIoTなどの分野の成長により、IT分野の人材が一段と求められるようになっていきます。

本学が開校以来培ってきたIT教育のノウハウを礎に「ゲーム」「ロボット」自体を高度なコンピュータシステムの一つとして捉え、豊富な実習を通して「ものづくりの醍醐味」を体得します。また、本校の売りである「産学連携教育プログラム」を通して、実践的な開発を繰り返し、成長に繋げていってほしいです。

そして自らが目標とする業界・職種を明確にし、業界を徹底的に研究した上で就職活動に乗り出し、「なりたい自分」をともに目指しましょう。


 ☆音響&映像メディアクリエイティブ学科
 （音響エンタメ研究、映像メディア研究）

学科長 五味 正太郎

新入生の皆さん 入学おめでとうございます。
 音響&映像メディアクリエイティブ学科はエンターテイメント分野について学ぶ学科です。一時はコロナウィルスによって打撃を受けた業界ではありますが、それによって技術面は大きく進歩しました。また、IT技術の進歩によって更に進化は加速しています。VRやAR、映像コンテンツ

のストリーミング化、ライブ配信技術など映像・音響業界でもITについて知識をつける必要が出てきています。このように、音響・映像の知識に加えてITの知識を身に付けることで将来幅広く活躍できるプロフェッショナルを目指していきます。

加えて、今後クリエイターを目指す上で重要なことは「理由を持つこと」です。音響も映像も制作するにあたり、「何となく」ではなく、「なぜそうしたのか」という理由をしっかりと持って説明できることが必要となります。音楽を聞く、映像作品を見るときにも「作者はなぜそうしたのか」を考えて見るように意識していくことで、何気なくやっていた日々の趣味から多くを学ぶことができます。大きな成長のために小さな一歩から始めてみましょう！

静岡福祉医療専門学校

総合福祉学科

学科長 井川 真世

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、期待と不安を抱えながらも、新たな一歩を踏み出されました。福祉の専門職を志そうとしたきっかけはそれぞれだと思いますが、「人の笑顔が見たい！」という共通点をお持ちではないでしょうか。これから専門的な知識・技術、技能を学んでいきますが、「どうしたら人を笑顔にできるか」を考えて欲しいと思います。そして、同時に「どうしたら自分が笑顔でいられるか」も大切にしてください。本学科は地域活動やボランティア活動等学外での活動にも力を入れています。学生時代に体験する全てのことが学びとなり、皆さんを成長させてくれます。ぜひ、色々なことに挑戦してください。もし、悩んだり、つまづくことがあったら先輩や教員を頼ってください。皆さんが充実した学生生活を送れるようサポートしていきます。一緒に笑顔で過ごしていきましょう。よろしくお願ひします。

介護福祉学科

学科長 三嶋 秀子

ご入学おめでとうございます。介護福祉学科は「共感性豊かで、専門的知識と技術に精通した介護福祉士の養成」を目指します。

確かな理論的基盤に立脚したコミュニケーション技術・基本的人権・専

門的知識と技術の習得を行い、利用者様を尊重し、利用者様が安全で快適な生活を過ごせることができるよう、相手の気持ちや立場が理解できる介護福祉士を目指しましょう。そして、人間としても成長し、高い倫理観を持ち合わせた介護のプロを目指しましょう。

さらに、ビジネスマナー、ICT活用技法も身に付け、福祉現場で幅広く活躍できる人材を養成します。理想は高いですが、自主トレーニングや指導を濃密にし、友人や先輩・後輩との連携を図りながら、自己実現を図るため、少しずつ前進したいと考えています。

夢に向かって、楽しみながら一緒にがんばりましょう。

子ども心理学科

学科長 後藤 明子

新入生の皆さん 入学おめでとうございます。

今年度入学する1年生は15期生となります。「こどもたちの『こころ』と『からだ』の健やかな成長を見守り、あたたかいふれあいの『心』を大切にする保育士・幼稚園教諭を育成する」という学生指導方針を根底に置き、さらに「専門職としての知識・技術の修得および子どもたちに何ができるのかを探求する学生」を本学科の目標とする学生像として教育してまいります。保育者・幼児教育者となるために、まず、①挨拶②相手を思いやる気持ち③礼儀④規則正しい生活⑤行動力を心がけてください。

もう一つ、「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」座長で保育所保育指針のとりまとめをされた汐見稔幸先生は、人間が大切にしてきた3つのこととして、『体で覚えていくこと。アイデアを出し合うこと。豊かな人間関係を作ること。』を上げられています。社会はますますAI社会となり、生活スタイルや価値観も大きく変化していきます。しかし、子どもたちが幸せな人生を送るために大切にしていきたいことは、変わらないのかもしれませんが、子どもの未来を明るく照らせるような保育者・幼児教育者を目指して頑張りましょう。

視能訓練士学科

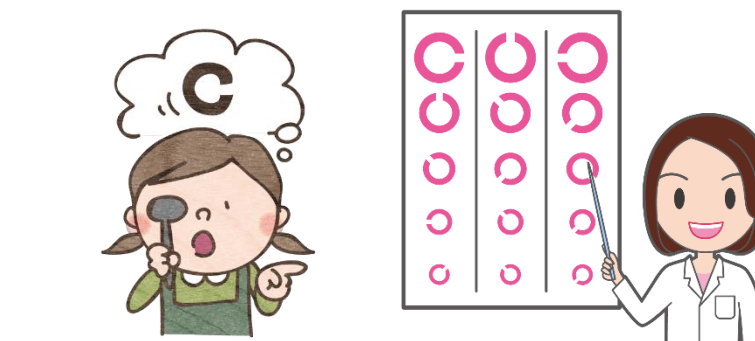
学科長 鈴木 ほまれ

ご入学おめでとうございます。

視能訓練士学科は「自ら考え行動のできる視能訓練士」の養成を目指します。視能訓練士は眼科で働くコメディカルとして、正確な専門知識・技術はもちろんのこと、常に患者様に寄り添い、思いやることが求められます。また、眼科は乳幼児から高齢者までが対象となる上に自覚的検査(患

者様の応答による検査)が多く、正確な結果を出すためには高いコミュニケーション力を養わなくてはなりません。3年間を通して、様々な人とコミュニケーションをとり、関わることで視能訓練士に必要な素質を養うようにして下さい。

皆さん一人ひとりが「視能訓練士」という夢を叶えられるように全力でサポートしていきますので一緒に頑張りましょう！



4月の行事

- 3日(月) キッズハウスひかり「入園進級お祝いの会」
- 6日(木) 新入生オリエンテーション9:00～
在校生オリエンテーション13:00～
健康診断9:00～
- 7日(金) 在校生前期講義開始
新入生オリエンテーション
- 8日(土) 始業式、入学式(2号館)
- 10日(月) 新入生オリエンテーション～11日(火)
- 12日(水) 新入生宿泊研修(御殿場)～14日(金)
- 17日(月) 新入生前期講義開始
学生会対策運動～21日(金)
- 20日(木) 学生会選挙(昼休み)
- 22日(土) オープンキャンパス 13:15～
- 25日(火) 春季スポーツ大会
- 29日(土) 昭和の日

